

1年生 美術科

1 美術の目標

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができるようにする。
- (2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- (3) 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

2 授業の評価

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・対象や事象を捉える造形的な視点について理解する理解している。 ・意図に応じて表現方法を工夫して表すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさの調和、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術文化に対する見方や感じ方を広げたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく表現及び鑑賞の学習に取り組もうとしている。
作品の出来映え、ワークシート、道具の使い方	アイディアスケッチ、作品の出来映え、鑑賞ワークシート、相互評価、グループでの話し合い、発表	授業の様子、制作への取組方、自己評価用紙、ワークシート、発表の様子、作品票

3 美術における学習評価の進め方

(1) 内容

美術には2つの分野があります。3年間でまんべんなく学習します。

「A 表現」：①感じ取ったことや考えたことの表現 ⇨ 絵画・彫刻

②目的や機能の表現 ⇨ デザイン・工芸

「B 鑑賞」：①美術作品などの見方や感じ方を深める活動

②生活や社会の中の美術の働きや美術文化についての見方や感じ方を深める活動

「(A・B) 共通事項」：①形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解する。

②造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉える。

(2) 学習の中で見取った事柄を評価する時

- ・十分満足できると判断されるもののうち、特に程度の高いもの ⇨ A^o
- ・十分満足できると判断されるもの ⇨ A
- ・おおむね満足できると判断されるもの ⇨ B
- ・努力を要すると判断されるもの ⇨ C^o
- ・一層努力を要すると判断されるもの ⇨ C

このように表記し、みなさんへお返しします。

自己評価用紙については、みなさんの学習状況がわかるものです。「がんばった」と記入しておけばよいの

ではなく、「今日の学習の進み具合から、今後どうしていくと目指したい作品に近づくのか」を、先生や友達のアドバイスをもとに、考え、組み立てていく力が求められます。毎時間のゴールを自分で設定し、その時間の取組方を振り返りながら学習を進めていきましょう。

4 授業のきまり

- ①時間厳守！（授業の開始時間、プリントや作品の提出期日など）
- ②危険なこと、人を傷つけること、人に迷惑をかけることは絶対にダメ。
- ③忘れ物に注意する!!（作品作りに影響し、評価への影響も出ます。）
ただし、忘れた場合は、休み時間のうちに連絡しにくること。
- ④友達から、教科書などの貸し借りはしない。
- ⑤盛り上がるときは盛り上がる、聞かるときは聞く、やるときはやる！

5 持ち物

- 教科書（美術1年）・ファイル・クロッキー帳・2B（Bでも可）の鉛筆・デザインセット
※美術室の棚に保管
※その他、必要に応じて準備してもらおうものがあります。

6 1年間の流れ（おおよその流れになります。）

時期	学習内容	学習目標
前期	オリエンテーション	○1年間の学習内容を知る。
	絵の中にある物語【鑑賞】	○作品の世界に入り込み、想像力を働かせて場面をイメージする。
	見つめて感じて描いて	《上靴のデッサン》 ○対象を見つめ感じ取った形や色彩、明暗、質感などの特徴や美しさを基に主題を生み出し、表現方法を工夫して絵で表現する。
	色彩の基本・仕組み	○色の基本的な知識について学ぶ。
後期	つなげて広がる模様の世界	《消しゴムはんこの手ぬぐい》 ○目的や条件などをもとに、自然物や人工物などの形や色彩の特徴をとらえて、構成を工夫してデザインする。
	自然の美しさから生まれた【鑑賞】	○自然の中にある形の規則性や連続性、構造などに着目し、美しさや印象などをとらえる。
	文字が生み出すイメージ	《絵文字》 ○イメージや伝えたい内容が相手に分かりやすく伝わるよう、形や色彩、構成を考え、材料や用具などを工夫して文字をデザインする。
	そのものらしさを形にして	《紙粘土》 ○じっくりと観察することで、先入観ではなく、そのものの特徴を新たに発見し、表現方法を工夫して制作する。

美術の学習活動は、日常にあるものに、ふと目を止めて、形や色彩などを意識して見ること、発見があったり、心が動かされたり、感動したりすることから生み出されます。その楽しさをたくさん味わおう!!